

高松処理区 大規模雨水処理施設整備事業計画（静岡市）

（様式1）

項目	内容・施策等
選定理由	<p>高松処理区は、大正12年から事業に着手し、標準耐用年数（50年）を経過した下水道管を多く抱えている。特に田町稲川遮集幹線は、静岡市の中心市街地の下水を遮集する重要な幹線（合流管渠）であるが、昭和34年に布設されて以降、60年以上が経過していることから老朽化が進行している。</p> <p>加えて当該幹線は、緊急輸送路である一般県道静岡草薙清水線に布設されており、「静岡市下水道総合地震対策計画」において「特に重要な幹線等」に位置付けられている。</p> <p>以上のことから、平常時及び地震災害時においても適切な機能確保を図り浸水被害を未然に防止するため、雨水処理施設の耐震化（改築）を実施する必要がある。</p> <p>さらに、耐震性を確保することは、地震災害時の緊急車両の交通機能障害等のリスク低減が期待できる。</p>
整備目標	<p>①本計画における対象降雨 整備水準の目標：67mm/hr（7年確率降雨）</p> <p>②目標設定 下水道管の老朽化に伴う被害を未然に防止し、下水道管の流下機能を低下させることなく安定した下水道サービスを提供する。</p> <p>③ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について i)ハード対策 下水道管の耐震化（改築）を実施。 ii)ソフト対策及び自助 内水ハザードマップの活用促進に向けた市政出前講座等の広報活動を充実させ、住民の自主的な防災活動を促し、地域防災力の向上を図る。また、想定最大規模の降雨を対象とした内水ハザードマップを現在策定中。 既存住宅への雨水浸透施設の設置助成事業を促進する。</p>

項目	内容・施策等		
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ●有（平成28年2月18日策定済み） 		
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者 ・合流管渠の耐震化（改築） 管更生 □1,500～□2,100 L=1.0 km
			下水道管理者

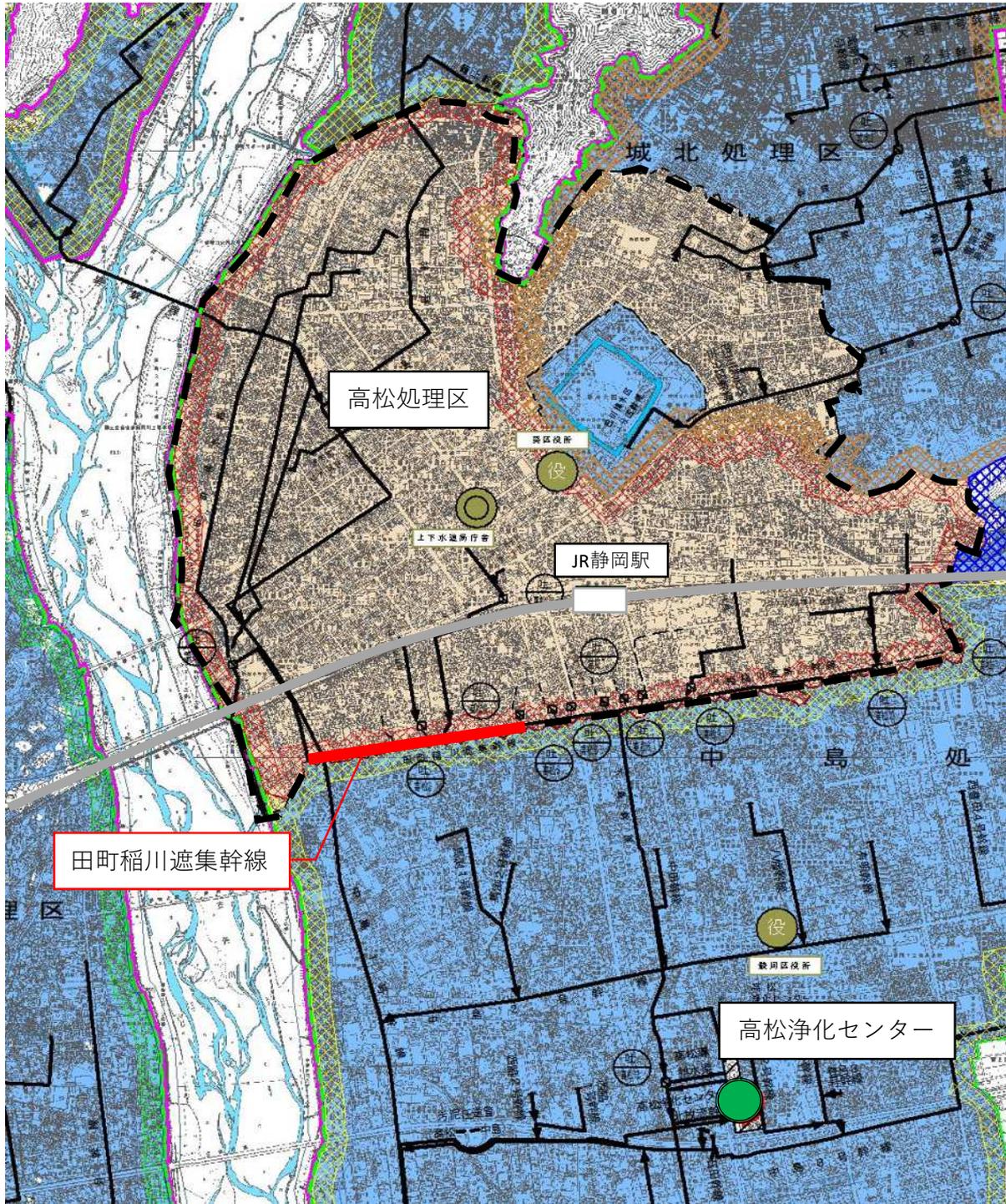
		以外	
	ソフト対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 降雨情報の収集 ・ 市政出前講座等の広報活動による自助・共助に関する市民意識の醸成 ・ 既存住宅への雨水浸透施設の設置助成事業を促進
		下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市危機管理部局による降雨情報の市民への提供

年度計画（百万円）

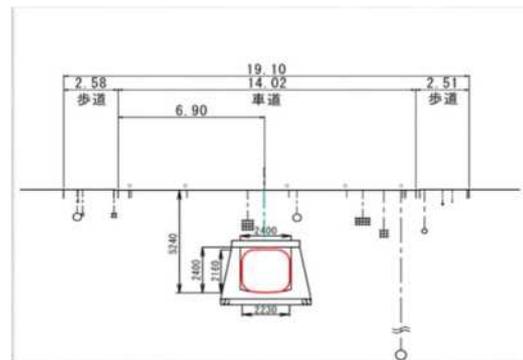
名称	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	計
合流管渠	267	252	239	281	264	217	1,520

項目	内容・施策等
整備効果	<p>合流管渠の耐震化により、排水機能を適切に確保する。</p> <p>ソフト対策，自助の整備効果等： 内水ハザードマップの活用促進に向けた市政出前講座等の広報活動を充実することで、住民の自主的な防災活動を促し、地域防災力を向上できる。</p>
放流先河川との調整状況	特になし
その他	

高松処理区 大規模雨水処理施設整備事業計画図



断面写真



標準横断面図